



CO MEN FLA

アルメリア

アラからニハールまで、パレマからラウハルまで、セロンからペラまでと、アルメリアの至るところでファンダンゴが歌われ、踊られています。タラントはアルメリア県で発祥したフラメンコのバロ(曲種)です。タラント(鑑人の嘆きの唄)から生まれたものですが、拍子やややはっきりしている点でタランタと区別されます。そのため、サンブラに似た舞踏を伴っています。

山々に囲まれたアルメリアの町から地中海が見渡せます。ここでは毎夏、生粋のフラメンコを満喫することができます。守護神である「海の聖母」を讃えるためのお祭りやフェスティバルの特別プログラムの一環として、ほぼ半世紀前より8月にアルメリア・フラメンコ・フェスティバルが開催されています。

アルメリアのフラメンコは「El Taranto」をはじめとするこの町のペーニャを中心に活動が展開されています。「El Taranto」より、岩をくりぬいた洞窟の家が立ち並ぶアルメリアのジァーナ街、ラ・チャンカ出身のギタリスト、トマチャイロがデビューしました。「El Arriero」や有望な「Los Jóvenes Tempranos」などの他のペーニャでも、地元の卓越したアーティストたちがカンテを披露します。多くのフラメンコアーティストの発祥地として知られる、アルメリアのその他の地区にはベスカリアが挙げられます。

弦楽器職人のアントニオ・デ・トーロのお陰で、最初のフラメンコギターはスペインギターを改良したもので、アアのリュート(楽器)に起源を有するということがよく知られるようになりました。フラメンコの著名な研究家達によると、タラントおよびレバンテのカンテはアントニオ・チャコンが彼の師匠の一人であり、レバンテのカンテの推進者であるカンタオール「El Ciego de la Playa」(エル・シエゴ・デ・ラ・プラジャ;「盲目の盲人」の意)から受け継ぎ、現在知られている形に仕上げたものだという事です。

とととととととととととと



Andalucía



www.andalucia.org



これらの小冊子では再生紙が使用されていることから、アンダルシアでは以下の分量に相当する環境負荷の低減を達成していることとなります。

98.517 kg のゴミ	14.296 kg の CO2	145.655 km にわたる車での走行
2.048.768 ℓの水	188.790 km/h のエネルギー	160.060 kg の木材

カディス

地中海に面し、海外から多くの影響を受けてきたこの町では、cantes de ida y vuelta(カンテス・デ・イーダ・イ・ブエルト(海外の影響を受けたカンテ)、カンチーニャ(曲種)が取り入れられ、機知や愛嬌に富んだフラメンコが楽しめます。3km以上の砂浜が広がるカディスは、新大陸を発見したコロンブスの第2回目航海の出发点に選ばれました。

Puerta de Tierra(プエルタ・デ・ティエラ;大地の扉)の城壁が、海に張り出した新市街地と旧市街地を隔てています。旧市街地には、ペーニャ地区(最高のベスカイト・フリート;魚のフライが楽しめること)、メンテデロ地区ならびに、11年前から8月にカフェ劇場「Pay Pay」で一連のフラメンコ公演が開催されている、中世の面影を残すポロ地区などの人気の高い地区が位置しています。特に、エンリケ・エル・メジノが伝説のカンタオールとしての地位を確立した場所であるサンタ・マリアは、フラメンコで有名な地区です。この地区に位置するメルセ広場には、ラ・メルセ・フラメンコ・センターがあります。サンタ・マリア地区で咲いたフラメンコ遺産はこの町で存続し、ペーニャ「Juanito Villar」に受け継がれています。ペーニャ「Enrique el Mellizo」では30年以上前より毎年夏に「Los Jueves Flamencos」を開催する一方、ペーニャ「la Perla de Cádiz」はフラメンコ学の教室を通して毎年「レグリアス舞踏コンクール」を開催しています。

シェリー酒、馬術の伝統、闘牛、モータースポーツやフラメンコで有名なヘレス・デ・ラ・フロンテラほど、国際的な名声の高い場所は数えるほどしかありません。サンティアゴ地区およびサン・ミゲル地区というこの町の最も伝統的な地区(都市部の名称は、当地の最も重要な2つの教会に因んで呼ばれています。前者にはCentro Andaluz de Documentación del Flamenco(アンダルシア・フラメンコ文庫センター)があり、後者はヘレス・デ・ラ・フロンテラで最もポピュラーなカンテであるブレリアの発祥地です。ヘレスは「カンテの父」の異名を取るアントニオ・チャコン、マヌエル・トーレ、ニーニョ・グロリア、ホセ・セロおよびフアン・ト・モハマ等のアンダルシアの代表的なカンタオールの巨匠を生み出した地でもあります。

カディスには有名なタブラオ、ペーニャやタブンコ(バル)が多数あり、連日最高のフラメンコを楽しむことができます。クリスマスには、焚き火を囲んでのサンバ(舞踏)に、特にフラメンコのクリスマス祭り)、夏にはブレリア祭り、冬の終わりににはヘレス国際フラメンコフェスティバルが開催されます。

アルヘシーラスは天才ギタリスト、パコ・デル・シアの出生地である一方、そこからわずか数kmの距離にあるサン・フェルナンドは「カマロン・デ・ライスト」こと、ホセ・モンヘ・クルスを輩出しています。また、サンル・カル・デ・バレーラの出身者としてはギタリスト、マノロ・サンル・カルが特筆に値します。

カディスの町はチャム・ロバート、マリアナ・コルネホ、ペリコン・デ・カディス、アウレリオ・セジェス、ラ・ベルナ・デ・カディス、ファン・ビジャール等、カディスの神話的アーティストを輩出しています。



グラナダ

グラナダでは文化の交流や混合が行われ、それが当地の文化遺産を形作っています。それは、アルバシンの屋敷を囲むオレンジの芳香を放つ果樹園、そして雨水溜めや噴水を流れる水の音にも表れています。エンリケ・モレンテのフラメンコの調べやアントニオ・チャコンのグラナイーナ(カンテのスタイル)を通して、イスラム文化、キリスト文化やルネッサンスが融合されたこの卓越した街のイメージが伝えられて来ました。

グラナダの町にはスペインで最古のフラメンコのペーニャとみなされている「la Plateria」があり、かなりの頻度でリサタルが開催されています。

ユネスコの世界遺産に登録されているアルハンブラ宮殿およびヘナリアフェ庭園の向かい側にあるアルバシシ地区では、芸術面でも技術面でも非常にレベルの高い、一連のフラメンコプログラムである「ロルカとグラナダ」プログラムが実施されています。この地区ではアルバシシ・フラメンコ・フェスティバルが開催されます。

文化プログラムの中でも非常に重要なイベントには、夏の初めに開催される「グラナダ国際音楽舞踏フェスティバル」があります。ここにはフラメンコ界でも重要なアーティストが集まります。また、夏の間に「Corral del Carbón」の舞台に「Muestra de Flamenco en Los Veranos del Corral」(コラルでの夏のフラメンコ公演)が開催されます。秋には「Isabel la Católica」劇場でフラメンコフェスティバル「秋のフェスティバル」が開催されます。さらに、La Chumbera(ラ・チュンペラ)の市民ホールでは一年を通して、一連のフラメンコリサタル「Patrimonio Flamenco」が開催されています。

ジプシーの洞窟住宅が集まるサクロモンテ地区を散策すると、大勢の観客の称賛を浴びながらこのバイレ(舞踏)に、特にサンブラが繰り広げられている洞窟を見つかることができます。「サンブラ」というのは通常、これらの洞窟でジプシーが披露するショーとショーの開催場所の両方を指す言葉です。

フラメンコのショーはグラナダ県その他の地域でも開催されています。民衆の歌、フラメンコのファンへのお勧めは「Poniente Granadino」(グラナダ西部)地方を巡るルートです。特にLoja(ロハ)で開かれる「Volera Flamenca」フェスティバルは有名です。カンテ・ホンドの伝統が息づくその他のフェスティバルとしては、Ogijares(オヒャレス)のものやSalobreña(サロブレーナ)の「Lucero del Alba」フラメンコフェスティバルが挙げられます。

フラメンコ

タルテッソス王国が設立され、やがて古代ローマの支配を受け、アフリカ大陸発見の際に船出の地となり、イギリスから大きな影響を受け、ラテンアメリカと深いつながりのある町として知られているウエルバは、ファンダンゴの地でもあります。このカンテは、ファンダンゴの巨匠、パコ・トロホの名が付いた広場にあるフラメンコのペーニャ「Peña Flamenca de Huelva」を通して広められました。常に愛好家を快く歓迎しているこのペーニャの主な活動として、ビッグアーティストのショーが楽しめる「Viernes Flamencos」(金曜のフラメンコ)が挙げられます。女性達が運営するペーニャ「Peña Flamenca Femenina de Huelva」も重要な役割を果たしています。

コロンブス祭りは、海軍大将、クリストファー・コロンブスと共にパロス港を発った航海者や乗船者を祀るため1882年以來毎年開催されており、アンダルシアの文化財に指定されています。6日間にわたって街中が歓喜に満ち溢れ、フラメンコをはじめとする様々な音楽や舞踏公演が開催されます。これほど幅広いスタイルや趣のフラメンコを披露することができる県はわずかしかなかった。

実際、アロスノの町はその豊かな伝統から「ファンダンゴの発祥地」と呼ばれています。当地出身のカンテ・ホンドの巨匠にはフランシスコ・ゴメス・アレシアドやパコ・トロホがいます。ここでは「Certamen Nacional de Fandangos de Alosno」(アロスノ・ファンダンゴ全国コンクール)が開催されるだけでなく、アンダルシア地方を代表する本格的なフェスティバルの一つ「Festival de Cante Flamenco de Moguer」(モゲール・フラメンコ・カンテ・フェスティバル)も開かれます。フンタ・ウニヴァリアの「Festival Flamenco Rumbo al Mar」(フラメンコフェスティバル、海へ出陣)はモゲールに続いて2番目に古いフェスティバルです。モゲールスタイルの歌手、ファン・ラモン・ヒメネスの作品は、ウエルバのファンダンゴの推進者であるホセ・レボージョ等、象徴的なカンタオールによって歌われました。

ウエルバ

この偉大な文化財をほんの数日間で味わってみたいという方に最適な選択は「フラメンコルート」を巡ることです。Bajani(ギター)ルートはカディスの海岸に沿ったルートです。2番目のアントニオ・チャコンの足跡を辿るルートはマラガからグラナダの沃野を横切ってグラナダの町に入ります。「ニーニョ・デ・カブラ」(カブラ出身のカンタオール)として有名な Cayetano に敬意を表した Cayetano ルートではコルドバの山脈を巡ります。4分の3拍子のルートはセビリア市内のトリアナ地区ならびに郊外のウトレラやレブリャなどを通っていきます。さらに、ウエルバのファンダンゴ(フラメンコの曲種)のほか、アルメリアやハエンを巡るメネラス(鑑人の歌)など、基本的なカンテのルートも用意されています。



ハエン

フラメンコの世界でハエンは、鑑人の嘆きの歌である「タランタ」で有名です。ハエンにあるフラメンコのペーニャが市役所との協力で、Feria y Fiestas de San Lucas(サン・ルースのフェアとフェスティバル)の枠組み内で、10月に「Pepe Polluelas」フラメンコフェスティバルを開催します。

ハエンに來たら、同県で最も重要な2つの都市であり、ユネスコの世界遺産に登録されているウバゲとバエサのルネサンス様式の記念碑的建造物群を訪れるのには行きません。ウバゲではフラメンコ団体である「Colectivo Ubetense Flamenco Activo」が一連のフラメンコプログラム「Amonos pal Flamenco」を開催しています。ウバゲ国際舞踏音楽祭は5月と6月にHospital de Santiagoホールという比類のない枠組み内で開催されています。

Linares(リナーレス)では1852年以降、炭鉱が活発に開発された時代が過ぎました。外国企業が進出し、この町が栄え始めることとなり日々の糧を求めて多くのアーティストがもたらされてきました。数多くのカフエンカンテスが作られました。そのうちの一体はタブラオまたはペーニャとして現在まで存続しているのですが、いつでも訪れることができます。リナーレスでは8月に「Concurso Nacional de Talantas de Linares」(リナーレス・タランタ全国コンクール)が開かれます。

ファン・バルデラマ、「El Gallina(エル・ガジーナ)」として知られるラファエル・ロメロ、パコ・エル・モレノやカルメン・リナーレス等のビッグアーティストがこの県の出身です。

レブリャでは、ディエゴ・エル・レブリャーノやフアンキン・デ・レブリャといった2人の偉大なアーティストを忘れるわけにはいきません。当地で開催される最も重要なフラメンコのイベントには有名な Caracolá(カラコーラ)があります。

ベルデアールス(マラガの民謡)、アバドラーオ(マラゲーニャの一種)、マラゲーニャ(マラガの舞踏・舞曲)の発祥地であるマラガで、カンテ・ホンドのファン必見の場所には、ペーニャ「Juan Brea」内のフラメンコ博物館です。その他、当地でフラメンコのエッセンスが凝縮されている場所といえば、旧市街にある細い歩道 Pasaje de Chinitas(チニータス小路)で、詩人フェデリコ・ガルシア・ロルカの作品にも登場する、1937年に閉鎖された「カフェ・デ・チニータス」の面影を彷彿とさせます。

マヌエル・マチャードの詩に登場する「マラガカンタオーラ」では、アンダルシア地方に深く根ざした文化表現であり、文化財に指定されているFiesta de Verdiales(ベルデアールスの祭典)が開かれます。12月25日から28日まで開催されるこのベルデアールスの最も伝統的な祭典では、数十のアーティストがグループで集まります。最終日の28日(聖イノセンテスの日)には、参加グループがカンテとバイレを競い合う「choque」(衝突の意)で盛り上がりです。

夏の到来と共に、エル・ベルチェル地区、ラトリニダ地区、セルバンテス劇場や数々の町で2年に1回「ビエンアル・デ・アルテ・フラメンコ」が開催され、多くのアーティストが群衆の注目の的となつたような華々しいステージでこの芸術を披露します。

ベレスはマラガにあるアクサルキアも是非立ち寄る必要があります。アルモヒャ地区、モンテス・デ・マラガ自然保護区やコルレスの中心地区に広がるベルデアールスのグループには是非訪れる価値があります。この辺りでは、人気のスタイルにはパンドラ(ファンダンゴの一つ)があります。その一方で海岸地域では、漁師が網を引く際に歌ったパンドラ(ファンダンゴの一つ)が主流になっています。アバドラーオより派生したロンデニャ(曲種)もマラガの地で聞くことができます。これらのアバドラーオを有名にしたカンテの巨匠にはファン・プーバ、エル・カナリオ、ラトリニャエル・コホ・デ・マラガ等がいます。

マラガ

セビリア

ヨーロッパの重要な都の一つであり、文化の増城でもあるこの町には、アンダルシア自治政府に属する「アンダルシアフラメンコ研究所」があります。同研究所が目的としていることはフラメンコの保存、復興、普及および振興です。ヒラルダの塔、セビリア大聖堂アルカサル宮殿やインディアス総合古文書館(世界遺産に登録)等、最も重要な建造物が立ち並ぶ地区と隣接したサンタクルス地区にある Casa Natal de Murillo(ムリーヨの生家内)に位置しています。

フラメンコ界の大御所、クリステアーナ・オヨスが設立したフラメンコ舞踊博物館では専門家の説明を通して、フラメンコが民間伝承の民謡からどのように現在の美しい文化的芸術的表現にまで進化してきたかを探ることができます。

トリアナ地区はフラメンコの発祥地の一つであるとみなされています。フラメンコの演奏や聖母ロシオを讃える歌が伝統的に披露されてきた「Casa de Anselma」等のタブレナ(居酒屋)に加えて、セビリャーナス、タンゴ、フリアの生演奏が毎日楽しめる多数のバルがベティス通りに次々と建ち並んでいきました。トリアナ、アラメダ・エル・クルスおよびセビリア中心街は、フラメンコやアーティストとの深いつながりから、新しいルード「Rio de Flamenco」(リオ・デ・フラメンコ)になりました。

セビリアでは2年に1回秋に「Bienal de Flamenco」(ビエンアル・デ・フラメンコ)が開催されます。これは、1979年以來開催されてきた最も有名フラメンコの祭典で、この町の最も重要な舞臺であらゆる種類のプロジェクトが実施され、時々のフラメンコ界の新しい傾向が披露されます。

セビリアは次のような偉大な伝説的アーティストを生み出しています:シルベリオ・フランコネッティ、Llave de Oro(カンテの黄金の鍵)の2人目の受賞者であるマヌエル・バジエーホ、「La Nina de los Peines」(ニーニョ・デ・ロス・ペイネス)として知られるその歌唱がアンダルシア自治政府により文化財に指定されている天才的なカンタオーラの「マストーラ・バゴス・クルス、マヌエル・フリア」およびフェデリコ・ガルシア・ロルカの提唱で開催された1922年の「カンテ・ホンドコンクール」で優勝したフアン・サント・モロンのほか、ペーニャ・エル・カルボネリョ、アントニオ・マイレーナ、ペーニャ・マルチェーナ、ウトレラのフェルナンドとベルナルド・ニーニョ・デ・ラ・フェブラおよびフラメンコギターの歴史を塗り替えたと言われるギタリスト、ニーニョ・リカルド等が挙げられます。

セビリア県では、史上初のフラメンコフェスティバルである「Potaje Gitano de Utrera」(ウトレラのジプシー・ポタージュ)の意、夏に開催)ならびに、カンビニャ地方が過去においても現在においても、フラメンコの世界で代表的な場所であることを示す「Festival de Cante Jondo de Mairena」(マイレーナのカンテ・ホンド・フェスティバル)等、著名なフェスティバルが開催されています。マイレーナ・デル・アルコールの町には Casa del Arte Flamenco de Antonio Mairena(アントニオ・マイレーナのCasa del Arte del Flamenco)があり、このカンテの黄金の鍵、賞の3人目の受賞者に関する秘蔵データの保存がされています。

長い伝統を誇るフラメンコフェスティバルのうちでも、ディエゴ・デ・ガストールの独特のスタイルが見もの「Gazpacho de Morón」(ガスパッチョ・デ・モロン)」は特筆に値します。

アンダルシアは フラメンコの地

FLA MEN CO



- Confederación Andaluza de Peñas Flamencas** (アンダルシア・フラメンコ・ペーニャ連合): www.confederacionandaluzadepenasflamencas.es
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Almería** (アルメリア県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Jaén, 3, 04007 Almería. Tel. 618 964 434 | fedflamencalmeria@hotmail.com
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Cádiz** (カディス県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Vallesquillo, 16, 5º H. Apdo. 62 Cádiz Tel. 956 341 280 | antonionunez@radiojerez.com
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Córdoba** (コルドバ県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Fernando Colón, 21. 14002 Córdoba. Tel. 957 491 349 | carmona@telefonica.net
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Granada** (グラナダ県フラメンコ・ペーニャ連盟): Avda. del Sol, 18. 18198 Huétor Vega. Granada. Tel. 958 201 245 | federacionflamencagranada@hotmail.com www.federacionflamencagranadina.com
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Huelva** (ウエルバ県フラメンコ・ペーニャ連盟): Avda. de Andalucía, s/n, esquina a Plaza de Paco Toronjo. 21004 Huelva. Tel. 959 530 036 federaciononubense@hotmail.es
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Jaén** (ハエン県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Domingo Arroquia, 41. 23500 Jódar. Jaén. Tel. 953 785 772 | pviedma@gmail.com
- Federación de Peñas Flamencas de Málaga** (マラガ県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Corregidor José Viciano, 6. 21009 Málaga. Tel. 952 490 486 | info@federacion-pfmálaga.org www.federacion-pfmálaga.org
- Federación Provincial de Peñas Flamencas de Sevilla** (セビリア県フラメンコ・ペーニャ連盟): C/ Dante, 1 - Sala 26. 41006 Sevilla. Tel. 954 641 976 | Fax 954648149 contactos@sevilla.federacionflamenca.es www.sevilla.federacionflamenca.es

フラメンコ関連の名所

- Centro de Arte Flamenco de la Merced**. Plaza Merced, 11005 Cádiz. Tel. 956 28 51 89
- Centro Andaluz de Documentación del Flamenco**. Plaza de San Juan, 1. Jerez de la Frontera. 11403 Cádiz. Tel. 956 902 134 flamenco.ccd@juntadeandalucia.es
- Museo de Arte Flamenco de la Peña Juan Breva**. Calle Ramón Franquelo 4. 29008 Málaga. Tel. 952 22 13 80 www.museoflamencojuanbreva.com
- Instituto Andaluz de Flamenco**. C/ Santa Teresa nº 8. 41004 Sevilla. Tel. 955 542023 | Fax 955 03 72 70 institutoandaluz.flamenco@juntadeandalucia.es
- El Museo del Baile Flamenco**. Calle de Manuel Rojas Marcos, 3. 41004 Sevilla. Tel. 954 34 03 11 www.museodelbaileflamenco.com
- Casa del Arte Flamenco de Antonio Mairena**. Calle Antonio Mairena, 7. 41510 Mairena del Alcor. Sevilla. Tel. 955 94 27 94 www.arteflamenco.es

フラメンコルート

- Bajañi** (ギター)ルート (カディスの海岸)
- アントニオ・チャコンの足跡を辿るルート** (マラガからグラナダの沃野を横切ってグラナダへ)
- カジェタノのルート** (コルドバ山脈)
- 4分の3拍子ルート** (セビリア市内および郊外の町村)
- リオ・デ・フラメンコ** (トリアナ地区、アラメダ地区およびセビリア中心街)
- ファンダンゴルート** (ウエルバ)
- 炭鉱ルート** (アルメリアからハエンまで)



フラメンコは200年の歴史を誇る芸術で、古代よりアンダルシアに形成された様々な文明に起源を発しています。ギリシャ人、古代ローマ人、イスラエル教徒、ユダヤ教徒、ヒンズー教徒、モサラバ(アンダルシアのキリスト教徒)およびジプシーがそれぞれもたらした独自の音楽遺産が融合され、数世紀にわたって進化を遂げた後、「フラメンコ」という一つのジャンルが確立されました。

伝統的な最初のカンテから、現在知られている様々なバロ(曲種)が派生しました。それらは異なったメロディーやコンパスの異なる構造を持っていますが、どれも「フラメンコらしい」特徴を備えています。それぞれを特定するには4分の3拍子または4分の4拍子等のコンパスを見分けることが大切です。同じ拍子でもアクセントをつける箇所と休みの箇所があります。例えば、セビリャーナスのリズムは1 2 3 (強-弱-弱)です。

フラメンコの主なバロ(曲種)

- ▶ **タンゴ**。フラメンコで最も古いバロの一つ。19世紀の民謡「Coplas de Jaleo(おはやしの民謡)」に起源を発している。プレリアと共に、フラメンコの祭典の伝統的なカンテ。コンパス 4/4: 1 2 3 4
- ▶ **ソレア**。フラメンコで最も種類の多い曲種。幅広い地域に広がる、様々なハーモニーの非常に多くのバリエーションを持つ。複雑なコンパスに基づいていることから難易度が高くなっているにも関わらず、「カンテの母」とみなされている。コンパス 3/4: 1 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ▶ **プレリア**。フラメンコの祭典の最も代表的なカンテで、アンダルシア地方外では最もよく知られている。ソレアから派生し、ソレアのコンパスを引き継ぐが、より速いテンポで演奏される。コンパス 3/4: 1 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ▶ **ティエントス**。コブラは8音節に3つか4つの韻文で構成されている。タンゴに属し、そのコンパスを取り入れているが、よりゆっくりにリズムになっている。起源は比較的新しく20世紀の初めであらうと考えられている。コンパス 4/4: 1 2 3 4
- ▶ **タラント**。タランタに類似しているが、違いはコンパスに沿って演奏されなければならないということ。アルメリアでタランタの後に発生し、その後他の地域に広がっていった。コンパスはタンゴやティエントスと同じであるが、よりゆっくりにリズムになっている。コンパス 4/4: 1 2 3 4
- ▶ **アレグリアス**。コブラは8音節に4つの韻文で構成されており、カンティニャスのグループに属する。一連のコブラで構成されており、「アゲティージョ」と呼ばれる深い意味のない言葉の響きやリズムを楽しむ歌が間に挟まれている。コンパスはソレアと全く同じだが、ソレアより速く、プレリアよりは遅いテンポになっている。コンパス 3/4: 1 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ▶ **マルティネーテス**。鍛冶屋に起源を発すると考えられている。コブラは8音節に4つの韻文で構成されており、カルセレーラやデブラのようにトナーの一種であるとみなされている。コンパス 3/4: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

- アルメリア**
 - アルメリア・フラメンコ・フェスティバル(8月の最後の週) 連絡先
- カディス**
 - Los Jueves Flamencos** (「木曜のフラメンコ」シリーズ、7月の後半から8月末まで毎週木曜日)。連絡先
 - Concurso Nacional de Baile por Alegrías** (全国アレグリアスコンクール、5月後半から6月後半まで)
 - ヘレス:
 - サンボンバのクリスマス(フラメンコのクリスマス祭り、11月後半から12月24日まで)。連絡先
 - フレリアの祭典(9月の最初の土曜日)。連絡先
 - ヘレス国際フラメンコフェスティバル(2月後半から3月第2週まで)。連絡先
- コルドバ**
 - La Noche Blanca del Flamenco** (フラメンコの白夜、6月最後の週の土曜日)。連絡先
 - コルドバ・ギター・フェスティバル(7月第1週)。連絡先
 - コルドバ・フラメンコ全国コンクール(次回は2016年11月開催予定)。連絡先
- グラナダ**
 - ロルカとグラナダ(7月後半から8月末まで)。連絡先
 - Festival de Flamenco del Albaicín** (アルバイシン・フラメンコ・フェスティバル、9月開催)。連絡先
 - グラナダ国際音楽舞踊フェスティバル(6月後半から7月後半まで)。連絡先
 - Muestra de Flamenco en Los Veranos del Corral** (7月最後の週から8月中旬まで)。連絡先
 - Patrimonio Flamenco** (一連のリサイタル、11月から6月までの冬と春にかけて毎週土曜日開催)。連絡先
 - フラメンコフェスティバル「秋のフェスティバル」(12月前半)。連絡先
 - ロハ: **La Volaera Flamenca** (予選は6月と7月の土曜日、決勝戦は8月後半の日曜日)。連絡先
 - オセハレス: **オセハレス・フェスティバル**(9月の第1週)。連絡先
 - サロブレニャ: **「Lucero del Alba」**フラメンコフェスティバル(8月前半、8月第2週の日曜日)。連絡先
- ウエルバ**
 - Viernes flamencos** (金曜のフラメンコ、8月の毎週金曜日)。連絡先
 - コロンプス祭り(7月末から8月3日まで)。連絡先
- アロスノ**: **Certamen Nacional de Fandangos de Alosno** (アロスノ・ファンダンゴ全国コンクール、7月最後の土曜日)。連絡先
- モゲール**: **Festival de Cante Flamenco de Moguer** (モゲール・フラメンコ・カンテ・フェスティバル、7月第2週目の土曜日)。連絡先
- プンタ・ウンブリア**: **Festival Flamenco Rumbo al Mar de Punta Umbria** (フラメンコフェスティバル航海、7月最後の週末)。連絡先
- ハエン**
 - 「Pepe Polluelas」**フラメンコフェスティバル(フェア・デ・サン・カスの枠組みで10月12日に開催)。連絡先
- ウベダ**
 - 「Amonos pal Flamenco」**プログラム(2015年は休業)。連絡先
 - ウベダ国際音楽舞踊フェスティバル**(5月前半から6月前半まで開催)。連絡先
- リナーレス**: **Concurso Nacional de Tarantas de Linares** リナーレス・タランタ全国コンクール、フェア・デ・サン・アグスティンの枠組みで8月後半に開催)。連絡先
- マラガ**
 - ピカソ美術館における一連のフラメンコプログラム**(新しいプログラムについては未発表)。連絡先
 - Fiestas de Verdiales** (バルディアアレスの祭典、聖イノセンテスの日2014年12月28日に開催)。連絡先
 - ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ** (隔年・奇数年に開催。次回は2015年9月の予定)。連絡先
- アラウリン・デ・ラ・トーレ**: **Torre del Cante** (トーレ・デル・カンテ、6月後半、サン・ファン・フェスティバルの前の土曜日)。**カサルベルメハ**: **カサルベルメハ・フラメンコ・フェスティバル** **Festival Flamenco de Casabermeja** (7月後半、サンティアゴ・イ・サンタ・アナ・フェスティバルに最も近い土曜日)。
- セビリア**
 - ビエナル・デ・フラメンコ** (2年おき9月に開催)。連絡先
- ウトレーラ**: **Potaje Gitano de Utrera** (ウトレーラのジプシーポタージュ、6月最後の土曜日)。連絡先
- マイレーナ・デル・アルコール**: **マイレーナ・カンテ・バンド・フェスティバル** (9月前半)。連絡先
- レブリハ**: **Caracols** (カローラ、7月最後の土曜日)。連絡先
- モロン・デ・ラ・フロンテラ**: **Gaspacho de Morón**。(ガスパッチョ・デ・モロン、7月最後の週から8月の最初の土曜日まで)。